

川のささやき

vol.
83



改修後の不老川(左水路)と北池を見る

写真奥は市民が作った林

大森調節池
(入間市宮寺)

contents

シリーズ 来て！見て！不老川

21. 新生 大森調節池

ある日私は大森調節池のかたわらを散歩していた。ふと思い立ち道路脇の木の観望台に上がって池を見下ろすと、葎の茂みを通してゆったりと歩くアオサギやシラサギが見えてきた。時おり軽い水音を立てて鳥は飛び立ち、空を舞う。水面には魚が跳ねた跡だろうか、ゆるい波紋が広がっている。しっ!! 静かに見てね。鳥や魚は人の気配に敏感、すぐ隠れてしまうのよ。・・・いつか見た私の夢・・・

大森調節池は今年10月で6年にわたる拡幅工事を終え、新たな姿を現します。既存の北池に加えて、新たに掘られた南池。総面積は工事前より大幅に拡がり、越流堤も流出口も新設されました。治水は命と生活の基盤です。けれどここには、もうひとつの宝が隠されているのです。

それはこの地域には珍しい湿地と、ここで育まれる貴重な植物や魚たち、餌を求めて集まってくるサギやカワウ、バン等の水鳥たち。ここは多自然が共生する調節池 未来の子どもたちに手渡す大切な贈り物です。

さあ、大森調節池を訪ねてみませんか。 (丸橋かほる)

特集 大森調節池の現在 浸水対策工事 完成

入曽河畔林のキツネノカミソリ 第14回魚類調査報告

不老川の植物



カマツカ (バラ科)
落葉小高木 別名：ウシコロシ

5月に小さな白花が集まって咲き、果実は10月頃に赤く熟す。適湿な場所を好む。山王塚市民緑地や入曽河畔林で見られる。材は丈夫で弾力があるので、鎌の柄などに利用された。

大森調節池拡張工事いよいよ完成 守られた林は？

2023年6月9日今年度初めて飯能県土整備事務所との協議がありました。担当課長が代わったため、顔合わせ的な内容となりました。不老川からの取水口がほぼ完成となり、北池（旧池）の拡張と土砂撤去をして、工事は10月に終了となります。

土砂撤去の方法に要望があるため、7月12日改めて皆川、丸橋、日比が出向き、工事担当者も同席で話し合いをしました。



6市民団体8人の参加で行われました

泥の堆積の問題

積み上げた土砂が雨で池に流入し、汚泥化し、水質悪化を招いています。調査でも水生生物の減少傾向がみられます。特にジュズカケハゼの産卵には礫底が必要です。技術的な交渉もしましたが、課題も多く、池の中の泥を取り除くのは改めて浚渫工事をしないと無理なことが分かりました。土砂撤去をする部分は礫底になるので、様子を見ることになりました。

私たちは「工事による土砂の流入」を以前から指摘しており、飯能県土側からは工事後に浚渫工事を行うとの返答を受けていました。しかし2019年雇用促進の助成金が出たことから、工事より前に浚渫工事を行ってしまったという経緯があります。

今後の展開

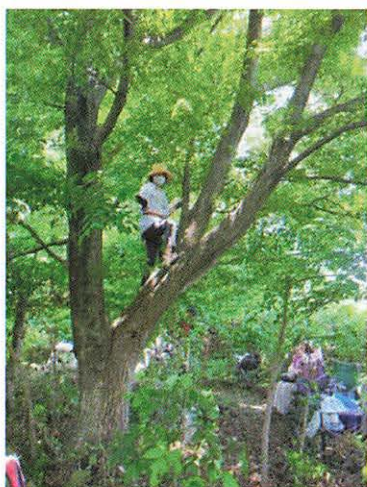
去年7回に及ぶ協議会でも共有できなかった池全体の将来像ですが、しっかりした位置づけを行わないと人事が代わるたびに一からの話し合いになってしまいます。

また会議のたびに私たちが議事録として「報告書」を提出していたのですが、次の会議に内容が活かされることなく、質問に期待する返答も未だありません。今後はこの「報告書」の扱いを改めてほしい旨、これまでの「生態系を豊かにするために取り組んできた歴史」と「官民協働の歴史」を次期の人事に伝える仕組みをきちんと確立して欲しい旨を要望しました。



どこまで良好な自然を取り戻すかが課題

生き物の宝庫「大森サンクチュアリー」（埼玉県生態系保護協会入間支部からの報告）



子供も大人も自然を体感できる

今、林内はトンボの天国。池で羽化した若いトンボたちは林内で大人になるまで過ごします。初夏には池から来たたくさんの子ガエルも見られ、水辺の林の豊かさを改めて実感しています。今年は林の整備もかなり進み、子ども達向けの観察会が可能となりました。今後手入れによって植物の種類も増えていくことでしょう。

今回、利用計画のない元ハンノキ林地に駐車スペースとゲートの設置を要望しました。池まつりの復活を望む声もありますが、まずはこの自然を知ってもらい、楽しめる小さなイベントをたくさん行っていくことが良いのではないかと考えています。観察会（9/10, 10/8, 11/12）や楽しい草刈りの計画がありますのでぜひご参加ください。

*詳しくはホームページのイベント案内をご覧ください→
ここでこんなことしたい！遊びたい！も募集しています！



報告 林内でアライグマ2匹（特定外来生物）/池でヌマガエルの卵（国内外来種、水が40℃になっても死なない）/巨大アカミミガメ/ナラ枯れ多数/不老川（林川合流点の上流）で30匹ほどの鮎泳ぐ（日比章湖）

不老川浸水対策特別緊急治水工事が完成

狭山市入曽地区

平成28年(2016)8月の台風9号による豪雨で、狭山市と入間市で甚大な浸水被害を出しました。そのため平成29年度から始まった治水工事が令和5年9月末までに完成予定です。(新権現橋～西武新宿線橋梁)全ての河畔樹が無くなり、河道拡幅と河床掘削、切り立ったコンクリート護岸そして、胸高のフェンスが設置されました。緊急事業とはいえ治水だけの工事は否めません。近年下水道の整備に伴い水質も向上し、魚や水鳥そして何よりもカワセミが生育する環境の川になっただけに残念でなりません。

工事に際して提言してきた中で、カワセミ営巣ブロックの設置、階段護岸・親水広場の取り入れ、入曽河畔林の保全などが採用されたことはささやかな喜びではあります。完成した所では、流れに沿って中州が出来、そこに草が生えてカルガモやシラサギ、アオサギが戻ってきています。生まれ変わった不老川が、これからも癒し空間として一層地域住民に大切にされることを願っています。

入間市内では、越水対策で西武池袋線橋梁、不老橋、藤沢橋、富士見橋の架け替えと、大森調節池の拡張整備もまもなく完成します。

※工事の詳しい状況はHP「NEW不老川へようこそ」で見ることができます。



河川管理用通路のスロープ(坂路)を橋と橋の間に造成 9か所



水辺に上り下りできる階段と親水広場の整備 2か所

入曽河畔林の夏景色「キツネノカミソリ」咲きました



256号橋から入曽河畔林を望む



キツネノカミソリの群落
8月17日撮影

狭山市西武新宿線橋梁下流右岸側の、クヌギやケヤキ、エノキなどの林に、早春にはニリンソウ、夏にはキツネノカミソリが群生します。

拡幅工事により多くの樹木が伐採され、猛暑続きと乾燥で心配しましたが、今年も鮮やかなオレンジ色の花が多数咲きました。



葉はなく花茎を伸ばし花が咲く



ニリンソウとキツネノカミソリ
春に葉が出る 3/22

河畔林ファンクラブ

不老川の景観地として親しまれていると共に、貴重な植物の生息地を、保全を目的として平成18年(2006)に植生調査を行い、草刈等を県と協議してきました。近隣の茶畑は住宅が建ち、景観は変わりましたが、河畔林が保全されたことは大きな喜びでした。

そこで、イチリンソウやキツネノカミソリなど貴重な植物の保護を目的に、2022年11月「河畔林ファンクラブ」を立ち上げました。主な活動は、生き物調査とゴミ拾い、草刈り、外来植物の抜き取りなどの手入れを行います。川越県土整備事務所(河川担当)と狭山市環境課と連絡を取り、保全活動を進めていきたいと思っております。

ボランティア仲間を募集しています。

連絡先: 権田 (090 - 3348 - 4439)



キツネノカミソリ (狐の剃刀)

ヒガンバナ科

多年草の球根植物 有毒 救荒植物
早春からスイセンに似た細長い葉を出し、夏になると葉は枯れる。8月に花茎を伸ばし先端に数輪咲かせる。湿気のある木陰を好む。生育地の減少により希少植物になっている。埼玉県準絶滅危惧種

不老川魚類調査「ギバチ」がいない！

毎年夏に不老川生き物調査と水質調査を行っています。今年は7月23日に狭山市の「マツザキの森」前と「としとらず公園」で調査しました。湯水状態が続く魚はいないのではと思いましたが、群れて泳ぐ姿が見られました。

石橋上流の「マツザキの森」前は、川のカーブに沿って河畔林の深緑が素晴らしく、緑陰が暑さをやわらげ、魚にとって住みよい環境になっています。左岸から湧水が流れ出ていました。また、東洋インキからの排水のゆるやかな流れに、メダカが泳いでいました。9月14日は、権現橋下流にギバチを探しに、残念！！昨年引き続き「不老川のギバチ」は捕れませんでした。

調査結果、写真はHP「NEW 不老川へようこそ」情報一覧にあります。

魚類調査 今年度は9月23日（土）に行います

第14回 魚類調査結果 2022年7月23日実施

としとらず公園	マツザキの森前	権現橋下流 9/14
オイカワ オイカワ稚魚 ドジョウ アメリカザリガニ カワリヌマエビ	オイカワ ギンブナ メダカ アメリカザリガニ カワリヌマエビ 稚魚多数	オイカワ ドジョウ ヤゴ 4種 アメリカザリガニ アカミミガメ カワリヌマエビ アメンボ 稚魚多数



狭山市としとらず公園にて

毎年新河岸川水系水環境連絡会の協力を得て、狭山市域の不老川3か所で魚類調査を行っています。長年ご協力いただいた藤井由美子さんありがとうございました。

不老川流域川づくり市民の会 令和4年度の活動

昨年度もまたコロナ自粛で、子供たちの歓声を川で聞けなかった。少し寂しい活動だった。

主な活動

- * ホームページ「NEW 不老川へようこそ」の更新・充実
- * 魚類調査 2回実施（狭山市域3か所） 7月23日 9月14日
- * 地域学習「不老川を知ろう！」の授業に協力（狭山市）1月25日
- * キツネノカミソリの掘り起こしと保護、移植
- * 行政との取り組み 大森調節池拡幅工事の協議
- * 他団体との取り組み 身近な川の一齐調査 6月5日
- * 不老川たより「川のささやき」 1回発行
- * 定例会 毎月1回

山王塚の森便り

「ナラ枯れ」の被害は、昨年一部にすぎなかったが、今年7月には幹の太いコナラの殆どが被害にあっている。狭山市のみどり公園課では、調査のために、3本の木に虫を集める装置を設置した。しかし、もはや自然に任せるのではなく、会では、次世代のための幼木を大切に育てることにしている。

この春のアmanaは森中に拡がりをみせた。キンラン、ギンランも多く、キツネノカミソリも生息範囲を広げている。河川工事の影響で、ハグロトンボが羽を休める姿が見られないのは淋しいが、クロアゲハやジャコウアゲハがゆったりと木々の間を舞う姿は見られる。また昨年今年と大量発生したカブトムシは子どもたちを喜ばせた。

異常気象に適応して生き物の世界は移り変わっていく。我々は、ただそれを見守るだけである。（村手保子）

活動日：毎月 第1土曜日と第3水曜日 10:00～

問い合わせ：山王塚の森を守る会 村手 ☎ 04-2957-3425



ポスター
環境省 HP より

アカミミガメとアメリカザリガニは、2023年6月1日より「条件付特定外来生物」に指定されました。池や川などの野外に放したり、逃がしたりすることは法律で禁止されました。家庭でペットとして飼育している場合はこれまで通り飼うことはできます。寿命を迎えるまで大切に飼育してください。



会員募集中

年会費 1500 円 定例会：毎月第1水曜日 10時～12時 連絡先：一面右上を参照